

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和4年度 第10号

「なぜ？」

校長 小早川 靖樹

先週は10年に1度とされる「最強寒波」が襲来し、運動場が雪で覆われたり、廊下にたまっていた水たまりが凍るなど、とても寒い日が続きました。北門の門柱には雪だるまの下半分(?)が置かれていて、登校してくる生徒たちは「あ、雪だるまや〜!」と言って、にっこり微笑んでいました。

今、学校では多くの授業で「あなたは『なぜ』そのように思いましたか。あなたがそう思った理由を周りの人に伝えましょう。」など、自分で考え、その理由を相手に伝える取り組みがなされています。これまでは、まず知識を習得することが重視されていましたが、これからは、ある程度の知識を基にして考えていく中で、自分で足りないと思った知識を学んでいくことが求められます。

現在、社会ではグローバル化や科学技術の急速な進展など、これからどのような社会になっていくのかを見通すことが難しくなっています。また、AI（人工知能）の発達によって、今後10～20年の間に約半数の仕事がなくなるともいわれています。たとえば、スーパーなどでセルフレジをよく見かけるようになったように、規則性が有り正解が確定されている場合、人の代わりにコンピューターが担うようになっていくと考えられます。コンピューターが社会にどんどん浸透していったら、人間は何をすればよいのでしょうか。

その一つは、決まった答えが存在しない、難しい問題について考え抜き、多くの人々が納得できる答えを導き出すことではないかと思えます。何をすればよいか、誰に頼ればよいかわからない状況下においても、さまざまな情報を集め、考え、判断し、行動することができる力が大切になってきます。自分が持っている知識に基づいて考えて判断したり、自分の考えを主張したり、交渉したりなど、周囲の人との対話力も必要となります。

みなさんには、先生から提示されてから考えるだけではなく、自分から積極的に「なぜ？」と考えるようになってほしいと思います。「なぜ？」を解決するために何をすればよいかを、さまざまな情報を集め、考え、判断し、行動することができ、自分の考えを主張するだけでなく、周囲の人とも対話ができる、そんな山田生になってほしいと思います。

☆地震を想定した避難訓練

1月17日に避難訓練を行いました。今年度3回目の訓練ということもあり、地震が起こることにより「停電する」

「校舎の一部が崩壊する」「一部の部屋で火災が起こる」という災害が重なった状況でどのように情報を伝えるか（伝わるか）、どのように避難するかを確認しました。限られた情報しか入ってこない状況の中で冷静に周りの様子を把握し、最適な方法を選択し、協力して行動に移すことが大切です。今回の避難訓練では、このことを一人ひとりが自覚し、円滑に（安全に）避難することができました。



☆第40回吹田市中学校「中学生の主張」大会

1月21日に千里市民センターで、「中学生の主張」大会が行われました。本校からは、2年生の さんが、「私が私でいられること」をテーマに主張を行いました。



【主張内容】

友達、家族、先生など、周りの人がいるから自分らしく過ごすことができる。周りにいる人は自分にとってかけがえのない大切な存在で、この人たちとならばうまくやっていけそうだと感じている。これまでたくさんのことを支えてもらってきたので、その分、違った形であっても恩返しができるようにしていきたい。

実感している気持ちや考えを、経験してきたことをもとに整理して述べることができました。「恩返しをしていきたい」この強い意志が会場全体にしっかりと伝わる、立派な主張でした。